

群馬県内のナナフシ類の記録と分布状況

金杉隆雄 群馬県立ぐんま昆虫の森

群馬県内のナナフシの記録は、群馬県動物誌における小池・柴田（1985）をはじめ、桐生動物誌の関口（1987）や藤岡市史（布施 1989）、館林市資料目録（大川・内山 2006）などの市町村誌などに散見される。しかしながら、旧来の図鑑では掲載されたナナフシ類については種類の混乱が見られるとともに、トビナナフシ類のように近年まで分類が確定せず、1種もしくは2種類とされていたものが、3種存在することが判明した場合もある。

2000年代以前の過去の記録は、古い図鑑に準じて同定されており、現状のナナフシ目の分類群とは異なっているものや文献上では種の判別が困難なものとなっていた。そこで筆者は、現在の分類体系に基づいた群馬県内のナナフシ目について標本の確認できるものを中心に整理を行い、以下にあげる2科4種を記録した（金杉 2015）。

ナナフシモドキ科 Phasmatidae

- ・ ナナフシモドキ *Ramulus mikado* (Rehnr, 1904)

トビナナフシ科 Diapheromeidae

- ・ エダナナフシ *Phraortes elongates* (Thunberg, 1815)
- ・ ヤスマツトビナナフシ *Micadina yasumatsui* (Shiraki, 1935)
- ・ シラキトビナナフシ *Micadina conifera* Chen et He, 1997

今回は、金杉（2015）での報告後、新たに得られた知見を含めて分布の概要をまとめた。



ナナフシモドキ



エダナナフシ



ヤスマツトビナナフシ



シラキトビナナフシ

キーワード 群馬県 ナナフシ類、記録、分布